

江南市スポーツ少年団冬季バドミントン大会要項

1. 主 旨 各スポーツ少年団より団員の参加を得て、バドミントン大会を開催し、団員相互の親睦並びにその資質の向上を図り、スポーツ少年の発展をめざす。
2. 主 催 江南市スポーツ少年団本部
3. 主 管 江南市スポーツ少年団バドミントン運営委員会
4. 後 援 江南市バドミントン協会
5. 日 時 令和7年 12 月 14 日(日) 開会式午前 9 時 00 分
6. 会 場 KTX アリーナ (江南市スポーツセンター)メインアリーナ
7. 参加資格 江南市スポーツ少年団本部に登録された団員で構成されたチーム
8. ルール 2024-2025 年度日本バドミントン協会規則及び本大会競技規則に準ずる。
なお本大会競技規則とは別紙の「冬季バドミントン大会申し合わせ事項」とする。
試合は団体戦とし、試合順序は、複1・複2・単とする。
9. チーム編成 1チーム 4～7 名以内 複2組、単1組
10. 参加料 1チーム 2, 500 円
11. 監督者会議 令和7年 11 月 22 日(土) 午後 7 時 30 分から
場所 KTX アリーナ(江南市スポーツセンター) 2F 会議室 5
12. 申込方法 別紙申込書により監督者会議 1 週間前 11 月 16 日(日)までに事務局に申し込むこと。
参加料は監督者会議時に支払うこと。
参加選手の個人情報の取り扱いに関する同意の意思の確認は、「大会申込書」で行う。
また、個人情報の保護に関する法律を遵守し、参加申込書に得た情報は、大会運営の目的以外には使用しません。
13. 表 彰 Aクラスには本部より、優勝、準優勝、第3位に賞状・賞品を、第4位には敢闘賞(賞状・賞品)を授与する。
Bクラスには本部より優勝、準優勝、第3位に賞状を授与する。
C1、C2クラスには上位チームに、江南市バドミントン協会より奨励賞(賞状)を授与する。
14. 傷 害 大会中の傷害については応急処置を行なうが、その後の責任はスポーツ安全保険の範囲内とする。
15. 問合せ先 江南市スポーツ少年団バドミントン運営委員会

各団のバドミントン運営委員まで

令和7年度 冬季バドミントン大会申し合わせ事項

1. チーム構成

- 1) 1チーム4～7名とし、複2組、単1組とする。
- 2) 1チーム5名以上で参加した場合。
 - *AクラスとBクラスに登録した選手は、予選のいずれかの試合に出場しなければならない。
 - *Cクラスに登録した選手は、いずれかの試合に出場しなければならない。
- 3) チーム選手が欠員で3名になった場合はオープン参加とする。
 - *オープン参加のチームを除いたチームで試合を行う。(オープン参加のチームは別で試合を行う。)
- 4) Aクラスは、6年生を1名以上含むチームとする。
 - Bクラスは、5年生以下とする。
 - C1クラスは、4年生以下とする。
 - C2クラスは、3年生以下とする。
 - ただし、Cクラスはチーム構成が不可能な場合に限り、団の判断で2年生の出場を認める。
 - 参加チーム数によりA、C 2つのクラスにする場合もある。
- 5) 男子の参加を認める。ただし、複のみとし、女子とペアにする。
 - チーム構成については以下の様に定める。
 - *4人チームの場合は、男子は2人までとする。
 - *5人チームの場合は、男子は3人までとする。
 - *6人チームの場合は、男子は4人までとする。
 - *7人チームの場合は、男子は4人までとする。

2. 本大会競技規則(☆は、江南市スポーツ少年団独自のルール)

- ☆1) 試合は、検定ナイロン球を使用する。
- ☆2) 試合順は、複1・複2・単とし、選手は複・単を兼ねることができる。
- ☆3) 全クラスの全てのチームが、2試合以上の試合をする。
- ☆4) サービスフォルトは、A・Bクラスは1回目からフォルトとする。Cクラスは指導のみとする。

<A・Bクラス>

- ☆5) 予選による、上位チームの決勝本戦。
 - 但し、参加チーム数により、リーグ戦又はブロック戦(変則も有)となる場合もある。
- ☆6) 決勝本戦に進めなかったチームは、交流戦を行う。
- ☆7) 各試合1ゲーム15点の3ゲームマッチ。
 - 予選は3マッチ全てを有効とし、2マッチを取得したチームが勝ちチームとなる。
 - 決勝本戦は、2マッチを先取して勝敗が決した時点で終了とする。
 - 全試合14対14になった場合は2点差がつくまで、または20点を先取したチームがゲームの勝者となる。
- ☆8) 決勝本戦の選出チーム数は、予選のブロック数によって運営委員会で決定する。
- ☆9) 予選順位は 勝率>ゲーム率>得失点率 で決める。

<C1, C2クラス>

- ☆10) リーグ戦又はブロック戦をする。(変則も有)
- ☆11) 各試合1ゲーム15点1ゲームマッチ。
 - 3マッチ全てを有効とし、2マッチを取得したチームが勝ちチームとなる。
 - 14対14になった場合は2点差がつくまでゲームを行うが20点を先取したチームがゲームの勝者となる。
- ☆12) 順位は、勝率>ゲーム率>得失点率で決める。

3. その他①

- ☆1) 全てのクラスにおいて参加チーム数により、トーナメント戦・リーグ戦・ブロック戦などに変更する場合がある。
- ☆2) 全てのクラスにおいて参加チーム数により、ゲーム数及び得点を変更する場合がある。
- ☆3) 全てのクラスにおいて参加チーム数により、表彰について変更する場合がある。
- ☆4) 同団チームが対戦しないように配慮する。(Aクラスの決勝本戦は除く。)

4. 大会運営

- 1) チーム構成上で本大会へ参加出来ない団員（女子部で活動している男子も含む）については希望があれば単ゲームを2試合行う。
詳細事項は運営委員会に一任する。
- 2) 協力審判員は各単位団1名の登録を行う。（監督者会議時に申請・登録願います）
- 3) 審判は、各クラス対戦チームによる相互審判とする。
当該チーム間の審判交代を認める。指導者の判断により、各団内の補助も認める。
- 4) 補助は、Cクラスに限り、審判講習を受けた大人も認める。（青ベストを着用）
- 5) チームの登録選手及び監督又は責任者1名の監督者席への入場を認める。
なお、監督又は責任者は運営委員会の貸し出す「チーム責任者」カードを着用、監督席に位置することとし、セット中の移動は認めない。ただし、チェンジエンド時は、監督も移動を認める。
- 6) 団員を除く監督またはチーム責任者、登録審判員以外でアリーナに降りている者には、本部からの審判応援要請をする場合がある。
- 7) Aクラスの決勝戦、3位決定戦の審判は協力審判員及び運営委員にて実施する。
- 8) 練習は各チーム初戦のみ、審判到着後、審判員の指示に従い、チーム単位での2分間の練習のみとします。
上記以外はラケット・シャトルを使用しての練習は一切認めない。（素振りも同様とする）
- 9) チェンジエンド時に給水を認める。（40秒以内）
- 10) シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ（試合）中、アドバイスを受けることができる。
- 11) 次の試合の参加選手の入場を認めるが、試合進行の妨げとならないようアリーナ外周を使用して移動すること。
- 12) 大会参加申込書提出以降の変更は認めない。
但し、不測の事態によりチーム構成が3名以下になる場合に限り監督者会議にて判断する。
- 13) 大会当日の各試合のメンバー表（オーダー表）は、提出以降の変更を認めない。（オープン参加チームは除く）
- 14) コート毎に旗が用意してあります。不測の事態発生時は、旗を振って近くの運営委員にお知らせください。
これら不測事態の最終的な判断は運営委員長に一任とする。

5. 体育館使用上の注意

- 1) ごみは各自でお持ち帰りください。
- 2) 施設内のコンセントは使用禁止。
- 3) 2階観覧席のチーム席は指定の場所をお願いします。
- 4) 飲食は観覧席をお願いします。
- 5) ランニングコースには荷物を置かないでください。
- 6) 施設内は土足厳禁です。団員及び、応援の方も上履き、下足袋を用意し管理してください。
（下駄箱は使用しない）
- 7) 喫煙は喫煙場所をお願いします。

6. その他②

- 1) 開会式には全登録チームが参加する事とする。
- 2) 協力審判員登録者は、選手たちに気持ち良くプレーさせるためにも 日ごろから審判員としての練習実施及び、細心の注意を払った審判を行うこと。
- 3) 競技場内でのフラッシュ撮影は試合進行の妨げとなりますので「禁止」といたします。